

・三位一体後第二十六主日

# 泉のほとり

今月の詩編 第八編

そのあなたが御心に留めてくださるとは

人間は何ものなんでしょう。

人の子は何ものなんでしょう。

あなたが願ひてくださるとは、



## わたしはいる

人生で最大の出来事は、神さまと出会うことです。神さまと出会い、神さまは本当におられるのだ、ということがわかると、生き方が変わります。時々「どうしてあなたは牧師になったのですか」と問われることがあります。いろいろ説明はできませんが、突き詰めれば「神さまと出会ったからです」というのが答えです。

エレミヤ書の第二十九章に、「心を尽くしてわたしを求めよ、わたしに出会うであらう」という言葉があります。真剣に神さまを知りたい、お会いしたいと願う者に、神さまは「自分を示してくださいませ。もちろん、神さまを口で見ることも、その声を音声として聞くこともできません。でも自分の周りで起こる出来事や、語る人の言葉を通して、神さまはご自分を示してくださいませ。これは確かなことです。」

今日はわたしたちの教会の教会記念日です。今から六九年前に、品川教会が神さまにお会いし、それによって新しい信仰の歩みを始めた出来事を記念する日です。当時、上地も建物も持たなかった教会は、今の場所にいた米軍の好意で、建物を借りて礼拝をしていました。ところが米軍が帰国すると、教会もいられなくなります。それで当時の佐伯倫牧師と教会員が相談して、この上地を買い取ることにし、そのお金を得るためにバザーをすることにしましたのです。

物のない時代です。それで、お米や砂糖、醬

油などを、自分の家から持ち寄って食べ物のお店を開き、残っていた米軍の人々にも衣料品などを献品してもらって、最初のバザーを七月に行い、続けて二回目を一月に予定したのです。

でもこの時は連日の雨でした。雨が降るとバザーができません。それでも準備を進めていましたが、当日の朝になっても、雨は激しくなるばかりです。ところがバザー開始直前に、その激しい雨が上がりました。一齐にテーブルや敷物を出してお店を作り、バザーを始めました。二日間バザーの間、雨は降りませんでした。ところがすべてを終えて、後片付けが済んだ時に、また雨が降り出したのです。

これがその出来事です。これはこの地域に住んでいた全ての人々にとっては、ただの自然現象です。でも祈りつつバザーの準備を進めていた教会には、この出来事を通して、神さまがご自分を示してくださいませることがわかったのです。それが教会の人々の心を全く新しくしたのでした。

神さまの名前を問うモーセに対して、「わたしはいる。確かにいるのだ」というのが名前だと、神さまはお答えになりました。どこか遠いところにおられるのではありません。「わたしは必ずあなたと共にいる」のです。どうぞここにおられるすべての方々が、この神さまとの出会いを経験されますように。真剣に求める人には、神さまは必ずご自分を示してくださいませ。

## あなたの香りが広がるように

愛するイエスよ、わたしがどこへ行くことも、

あなたの香りが広がるよう、

わたしを助けてください。

わたしの魂を、あなたの霊といのちで

満たしてください。

わたしの存在のすみずみに

あなたが染みわたり、

わたしをあなたのものとし、

わたしのいのちが、ただあなただけを

輝かせるものとなりますように。

わたしを通して輝き、

わたしのうちにいてください。

わたしが出会うすべての人びとが、

わたしの魂のなかにおられる

あなたの存在がわかりますように。

イエスよ、人びとがわたしではなく、

ただあなただけを

見ることができまますように。

アーメン

平野克己著 「祈りのともしび」より

ジョン・ヘンリー・ニューマンの祈り

## 今日のお知らせ

○今日は教会の暦では、一年の最後の日曜日になります。来週からアドベント（待降節）に入ります。

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスと、両合二階リズム室では、礼拝で受けた恵みを分かち合う「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで、讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○昼食後、クリスマスの飾り付けをします。

役割分担は以下の通りです。

礼拝堂玄関上 教会

学校部

礼 拝堂内 礼拝部

エントランス 礼拝部

ロビー・事務所前 幼稚園・伝道部

ホール 幼稚園・教会学校部

○来週の午後、教会員懇談会を開きます。来年度からの新しい体制についての説明が役員会からなされます。その後引き続き、クリスマス・イブ礼拝の奉仕についての打合せをします。

○クリスマスの諸行事を知らせるチラシができました。クリスマス礼拝やイブ礼拝、また聖書の会のクリスマスなど、この時期は新しい人びとが教会に來られるよい機会です。ぜひ親しい方々をお誘いください。そのために作られたチラシを、有効にお用いください。

○例年アドベントの第一週に配布されている「アドベントのご挨拶」が、今年は一週早く、今日状態に配られているようです。ご挨拶の内容説明は来週のホール集会でなされます。ご了承ください。

○紫園音楽伝道師は、本日は亀有キリスト福音教会、一二月一日（土）キリスト教朝顔教会でコンサートのお奉仕をします。お祈りください。

## 四国だより

(前号の続き)

四国に帰ってから数ヶ月が過ぎ、私はあの御本の注文先である教会に電話しましたら事務の人が「信徒の方でしょうか？教職にある方ですか？」と一つの質問をされ「私は四国で小さな開拓の教会で牧会をしております」と「ちょっとお待ち下さい。今、T先生と変わりますので」急な事に私は驚き「どうぞおかまいなく。先生はお忙しいと思いますので。私はただ本の注文だけでお電話をしているだけです。」すると、「実は今先生がここにおられますのでちょっとお待ち下さい」との事。困惑すること四秒位でT先生が電話口に出られびっくり致しました。

まずは御本との出会いを感謝し御礼を申し上げます。五分位お話す間に十一月に特別な研修会があり一般に向けて案内状などは出さないうで限定六名として行うとの事でご招待下さる事になりました。あつという間の出来事でこんな現実がある事に驚いてしまいました。後日、事務所からのご連絡をいただきました。「六日間連続の研修が続きますが、田端先生にご用意いただきますのは、ご自分の旅費のみでございます。研修期間、宿泊費、食費、他所の見学等は全て当方にて準備させていただきます。「教会作り共同研修会」にご招待させていただきます」

先生のお祈りの中で五名が決まったようでした。歓迎会で始まり感謝送別会で終了となるそうです。私にとってこの驚くべき現実はまだで海外への留学が決された程の感動でありました。どんな事を学ぶのか、どの様な人々との出会いがあるのか、どの様な悔い改めに導いて下さるのか。未来へと続く扉の前に立って主がその扉を開いて下さる目を深みに待っております。この研修会は先生の深いお祈りの中で主のお導きどおりに行われるようにパンフレットでご案内する種類のものではないとの事でした。内容はマンツーマンの様に非常にきめ細やかで生ける主のお導きをとても尊重しておられます。

先生の深い信仰により主なる神様の啓示によつて行われる御主旨のものであると痛感致しましたので教会名と先生のお名前は伏せさせていただきます。私共の教会員の皆様におつたえしましたら一斉に歓声があり、主のみこころの内を歩ませていただいている事に喜びと感謝が溢れました。お懐かしい品川教会の吉村先生、黄先生、菊池先生と教会員の皆様の尊いとりなしのお祈りにいつも励まされておりましたことを申し上げます。

二〇一八年十月十七日 田端良恵

## 聖書の会へどうぞ

11月28日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「いつか何をしたいのか」

使徒21章15-16節

黄允浚 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「生きておられる主」

ルカ24章36-43節

吉村和雄 牧師

## 次週礼拝

●第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 主を待ち望むアドベント 97番

説教 主が再び来られるとき

聖書 ルカ21章25-36節

説教者 吉村和雄 牧師

●第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 95番 532番

詩篇 46篇

説教「荒野野を耐えられた主」

聖書 マルコ1章12-13節

説教者 菊池美穂子 副牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 17番  
461番

説教 「罪人のひとりになられた神」

聖書 ルカ23章32節～43節(新約P158)

司式 森洋之 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池美穂子 副牧師

前奏曲「こころみの世にあれど」 E.グロート

### ○讃21-17番

1. 聖なる主の美しさと その栄えを 仰いで  
まごころもて み前に立ち  
み名をたたえ あがめよう
2. 重荷すべて 主が代わって  
負ってくださる うれしき  
悩み多い 世の旅路も みちびく 主のみ恵み
3. 心つくし 主に任せよう とるに足らぬ私の  
愛のわざも 身も心も  
主は受け入れ よろこぶ
4. 闇をかえて 光とする 主の恵みの 貴き  
望みは湧き おそれは消え  
胸に満ちる よろこび アーメン

○ピアノによる讃美  
「恵みの高き嶺」 聖歌589番より

### ○讃美歌461番

1. 主われを愛す 主は強ければ  
われ弱くとも 恐れはあらず  
※わが主イエス わが主イエス  
わが主イエス われをあいす
2. わが罪のため さかえをすてて  
天よりくだり 十字架につけり
3. みくにの門を ひらきてわれを  
招きたまえり いさみでのぼらん
4. わが君イエスよ われをきよめて  
よきはたらきを なさしめたまえ アーメン

聖餐曲「アダージョ」 F.メグ ゴッゲン

後奏曲「メヌエット」 C.M.グイデル

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 12番 258番

詩篇 第8編(旧約P840)

説教 「神の民の誇りを捨てて」

聖書 ローマ2章12節～16節(新約P275)

司式 森洋之 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」 J.S.バッハ

### ○讃美歌 12番

○ピアノによる讃美  
「恵みの高き嶺」 聖歌589番より

○聖歌隊による讃美  
「鹿の谷川を」 G.P.da バレトリナ  
鹿の谷川を 慕いあえぐごとくに  
わが霊は 主を慕う  
慕いあえぐ  
わが霊は 主を慕いあえぐ  
み神をば 慕いあえぐ  
生ける主をば 慕いまつる

### ○讃美歌 258番

聖餐曲「アレグレット」 F.メグ ゴッゲン

後奏曲「メヌエット」 C.M.グイデル